



NET 5ℓ  
液状

■特徴

リーフアップバリア（旧名V1）をはじめ、後述のV2、V3の3種は一言で言うところ「安全な防除資材」である。人体に毒性を示す恐れがある化学農薬ではなく、人体に比較的 안전한天然由来の原料である。

リーフアップバリアは、高濃度有機酸（食酢・クエン酸）、高濃度発酵アルコール、唐辛子

エキスを、ニンニクエキス等を混合している。

耐病性強化、作物活性化、病虫害忌も可能にする健全化資材。農薬ではないため回数にとらわれずに散布できる。

■効果

- ①軟弱徒長改善、②窒素過多改善、③耐病性強化、④害虫忌避

リーフアップバリアに含まれる有機酸類、アルコール類、植物エキスの成分が、作物の代謝の過程で生成する物質と似ているため、葉面散布で作物が吸収することにより代謝向上、体質改善につながる。

また、病原菌の発生を抑制し、地上部の病気、土壌病害の予防に効果的。

窒素過多、軟弱徒長、過繁茂

状態・ツルボケ等のトラブルになる時は、天候不良、日照不足、過湿などの気象条件もまた生育を乱す要因である。トラブル後に化学由来の農薬対症療法ではなく、事前に耐病性を強化する（Ⅱ炭素率向上）事で未然に防ぐ。

リーフアップバリアに配合された物質による独特の臭いが、害虫の嫌がる成分を含んでいるので害虫忌避効果がある。

■こんな病気に：

- ・イモチ病、ベト病、ウドンコ病、サビ病、キンカク病、サンキン病などといった窒素過多・過湿条件下のカビ系の病気。

■使用方法

◎野菜類

(育苗～定植後)

300～800倍液を葉面散布

(生育中期～収穫期)

300～500倍液を葉面散布

5～7日おきに連用

※果菜類

・ 200～300倍液

※葉菜類・根菜類

・ 100～200倍液

◎水稲

(最高分けつ時・出穂前・出穂後・

登熟期)

200～300倍液を葉面散布。

5～7日おきに連用

▼注意▲

・ 基本的に農薬混用は可能ですが、同時(混用)使用に際して

はご注意ください。

・ アルカリ性の薬剤(石灰硫黄材等)はおやめ下さい。

■タイミング

・ 降雨後や、曇雨天時

・ 蝶や蛾の飛来を見かけた時

・ 作物が軟弱徒長生育の時

・ 高湿度状態の時

・ 葉面散布資材の効果補助

■他のミズホ資材との併用

・ アクセル資材(生育促進)である「リーファップN」「リー

ファ液材」との併用がおススメ。

耐病性が落ちている作物の栄養

補給と生育の回復と共に、プ

レーキ役(窒素過多の解消)と

しても働く「リーファップバリア」や「Pフォスタ」による、

着花・着果の促進、軟弱生育の

改善を同時並行して行う。高い

栄養状態レベルを維持する事で

作物の炭素率を向上させる。

※本製品は農薬ではありません。

人体および益虫には害はありません。

せんが、ハウスの中にハチがいる時は、活動していない時の施

用が望ましい。

用が望ましい。

